



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



「翼をたげ♪♪」 オニアジサシ若者 (撮影：松田信義さん)

## 野鳥さが201号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 室内学習会のご案内-----3ページ
- カササギ生息数調査報告（まとめ）-----4ページ
- 各地の観察会報告-----5ページ
- 皆さんからのおたより-----7ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報-----12ページ
- 有明海の満潮時刻-----13ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から-----14ページ
- 近隣地区の観察会情報-----16ページ
- 観察会場までの案内-----17ページ
- 観察会などのお知らせ（2015年8月末～10月）-----18ページ



●2015年度 第3回役員会 (※支部総会を第2回としました)

【日時】2015年8月2日(日)

【参加者】宮原明幸、田中丸雅雄、江里口立子、山崎章弘、蒲原留美、島田洋、青柳良子

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) 室内学習会について

- ・日時・場所：9月6日(日) 14時～16時 佐賀市立図書館多目的ホール
- ・テーマ：「日本一の干潟 東よか干潟(大授搦)を知ろう」  
・・・講演者：宮原明幸支部長
- ・役員は会場準備のため13時に集合する。

(2) 愛鳥普及事業について

- ・今年度は「伊万里市立東山代小学校」「玄海町立玄海中学校」が対象

(3) ラムサール条約登録関連

- ・東よか干潟(大授搦)と肥前鹿島干潟(新籠)がラムサール条約に登録された。  
他の支部からも注目されており、見学予定を立てている支部もある。

(4) 森林公園の今後について

- ・土木事務所や、公園長も樹木植栽や「生態系保全」には、関心は持っているようである。どのような樹木を植えるべきか、どのような管理をするかなど提案し、協議していく。

(5) 「鷹匠」について

- ・7月6日の西日本新聞が「鷹匠(ファルコナー)」の記事を掲載するなどした。  
鷹匠については、これまでいろいろな問題が指摘されている。2011年にはオオタカの捕獲で鷹匠が逮捕された。鷹匠問題について意見を交わした。

(6) カササギ&カラス調査について

- ・カササギ調査についてはその調査方法など再検討する。九州電力に対しては巣の撤去に関しての申し入れをしていく。
- ・佐賀市から近いうちにカラス調査の委託があると思われる。受託する予定。

(7) カササギバッジについて

- ・カササギバッジは好評のため、1,000個を新たに追加注文する。



(8) 全国鳥類繁殖分布調査について

- ・日本野鳥の会、日本自然保護協会などが実施団体となり全国の約 2,300 コースで鳥類繁殖分布調査を行う。実施期間は 2016 年から5ヶ年をかけて行う予定。調査には佐賀県支部も協力する。

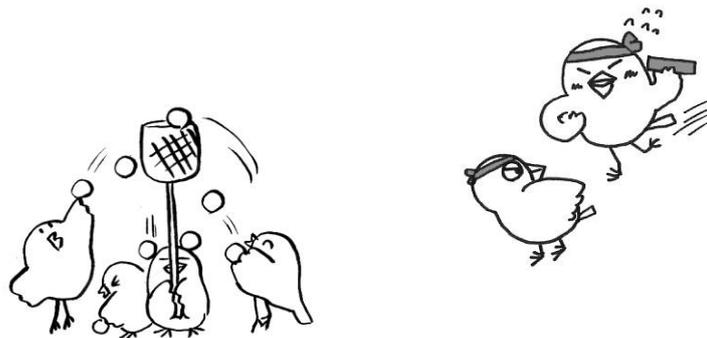
(8) カナダガンについて

- ・環境省より特定外来生物である「カナダガン」に関して目撃情報がほしいとの事。カナダガンを目撃したら、以下の要領でFAX、メールして下さい。

- ① 目撃者：氏名 所属団体 電話又はメールアドレス
- ② 目撃した日時： 年 月 日 時 分
- ③ 目撃した場所（詳しい地名や目標物） ※地図、緯度経度がわかれば記載する。  
〇〇県 〇〇市町村（湖・川・その他〇〇） 〇〇 付近  
目撃したカナダガンの数 写真（有・無）
- ④ 観察した行動などを自由にお書きください。

FAX：0465-23-8846 神奈川県立生命の星・地球科学館 加藤さん宛て  
メール：katoy@nh.kanagawa-museum.jp

(9) その他、今後の観察会についてなど



## 室内学習会のご案内

【日時】 2015年9月6日 14:00~16:00

【場所】 佐賀市天神 佐賀市立図書館2階多目的ホール ☎0952-40-0001

【テーマ】「日本一の干潟 東よか干潟（大授搦）を知ろう」

鹿島市の肥前鹿島干潟（新籠）とともにラムサール条約の登録湿地になった東よか干潟（大授搦）は環境省のモニタリング調査で、シギ・チドリ類の飛来数日本一を記録しています。全国のバードウォッチャーの注目を集める東よか干潟を再確認しましょう。

【その他】会場では 写真展や物資販売もします。ご家族・友人・知人の方など自然に関心をお持ちの方がいらしたら、是非ご一緒にご参加ください。参加は無料です。





## カササギ生息数調査報告(まとめ)

(副支部長：青柳 良子)

今年は初めて「県鳥 カササギ」についての調査に取り組みました。県内各地に在住の会員の皆様に協力していただき、まず「巣がどこにいくつあるか」を調べてみようということになりました。しかしながら、子育てが終わったと思われる7月末までの調査表回収率は23.5%でした。『調査結果』としてまとめるにはあまりにも少なすぎるデータなので、来年はどんな調査方法にするかは、また考えることにしました。これまでにいただいたデータの集計結果をお知らせします。

地域	会員数(除家族)	調査表返送数	確認された巣	繁殖確認
佐賀市	43人	7通	38個	5か所
小城市	19人	5通	31個	8か所(樹木1)
唐津市	11人	3通	3個	2か所
伊万里市	8人	3通	1個	
神埼郡・市	8人	3通	0個	
三養基郡	8人	3通	4個	4か所(樹木1)
鳥栖市	8人	2通	4個	2か所
鹿島市	7人	2通	6個	
武雄市	7人	0通		
嬉野市	4人	1通	0個	
西松浦郡	4人	0通		
多久市	3人	2通	1個	1か所
杵島郡	1人	0通		
藤津郡	1人	0通		
合計	132人	31通	88個	22か所

《方言名調べ》・・・12名の方からいただきました。

- ・カササギ → カッチン(神崎市千代田町)、カチガラス(小城・嬉野)、戦前は朝鮮ガラス、昭和30年頃からはカチガラス(唐津市鎮西町) コウゲガラス(筑後地方・コウライガラスがなまったか?)
- ・ツグミ → カッチュー(嬉野)、カッチョ(鳥栖・三養基)
- ・セキレイ → シリタタキ(鳥栖・伊万里)、ヒコヒコドイ(唐津 相知町)
- ・ジョウビタキ → モンツキ(鳥栖)、モンツキドリ(多久)
- ・カイツブリ → キャーツグロ(伊万里・鳥栖) コジュケイ → チョットコイ(嬉野)
- ・ミソサザイ → ミソッチョ(三養基) ・フクロウ → ヨゴイカッチョ(鹿島)
- ・イカル → マメマワシ(鳥栖) ・カラス類 → クロガラス(地域不明)





## 各地の観察会報告



### ■脊振山観察会報告（神崎市）

【日時】 平成 27 年 7 月 12 日

【参加者】 青柳隆、青柳良子、門畑ゆみ子、蒲原留美、千住利夫、高山英一、田中照美、田辺憲子、二宮尚子、原野正道、山口蒼生、久富文江、福田康典、松隈直子、松隈大記、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】 キジバト、アオサギ、ホトトギス、カッコウ、コゲラ、ハヤブサ、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、カワガラス、キビタキ、オオルリ、スズメ、キセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ソウシチョウ

【案内役から】

今にも落ちだしそうな空模様でしたが、なんとか持ちました。

7月だと言うのに、山は日差しのないせいもあり、水も要らない涼しさです。

鳥は、集合場所の脊振神社下宮周辺では、カワガラスやキジバト、ホオジロ、キセキレイと姿を見ましたが、山は木々の葉が茂り声だけです。

声は、全山を凌駕する？ソウシチョウの声の合間を縫って聞こえて来ます。

お目当てのカッコウは最後に遠くで鳴いてくれました。

### ■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 27 年 7 月 19 日

【参加者】 島田洋、加藤芳隆、新田直哉、福田康典、出原学、江口富美子、小柳政春、中村さやか、中村翠、久富文江、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】 メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ホウロクシギ、ダイサギ、アオサギ、ヒバリ、ツバメ、カワラヒワ、セッカ、オオヨシキリ、ハシボソガラス

【案内役からの一言】

5月末のラムサール条約登録後、初の観察会。前日の天気予報では降水確率 50% で心配しましたが、朝から強い日射しで猛暑です。汗を流しながら堤防下に下りる。女性たちは日傘をさしての観察。

繁殖地から早々と戻ってきたハマシギ 200 羽、アオアシシギ 20 羽、ソリハシシギ、アカアシシギ、キアシシギなどシギ・チドリ類が 11 種。

あまりの暑さのため、予定時刻前に鳥合わせを行い解散しました。

### ■石井樋公園観察会&室内学習会報告（佐賀市）

#### ①石井樋公園観察会

【日時】 平成 27 年 8 月 2 日

【参加者】 二宮尚子、田中丸雅雄、青柳隆、高山英一、深村徹、宮原明幸、

蒲原留美、福田康典、田中照美、島田洋、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、ウミアイサ、ミサゴ、イカルチドリ、イソシギ、カワセミ、コゲラ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ（親子）、ヒヨドリ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス

【案内役からの一言】

連日35℃を超える猛暑の中の鳥見は「何もおらんね～」と言われそうな予感がしていましたが、本日のメインは「室内学習会だから・・・」と自分に言い聞かせながら始めましたが・・・この暑い中野鳥たちは元気に飛んでいました！

きっと観られるだろうと思っていたチドリ。やはりいました！コチドリかイカルチドリかと図鑑を見ながらワイワイ。足が長いこと、目の周りの黄色い縁取りがあまりはっきりしていないことから「イカルチドリ」だ！と皆納得。

カワセミも3羽。親子かも？カワラヒワの水浴びは見ていても気持ち良さが伝わってくるようでした。

また、道すがら「コクサグモ、ハグロトンボ、チョウトンボ、ウスバキトンボ、クマゼミ、アオスジアゲハ、ウチワヤンマ、シデ虫の幼虫・・・」などの話題も豊富で楽しい観察会になりました。

## ②室内学習会・・・「探鳥会リーダーズフォーラムに参加して学んだこと」

【参加者】二宮尚子、田中丸雅雄、高山英一、宮原明幸、蒲原留美、福田康典、田中照美、島田洋、江里口立子、佐田秀文、江口富美子、加藤芳隆、久富文江、青柳隆（報告者）、青柳良子（担当者）

【担当者からの一言】

今年2月に東京・八王子市で開催された「探鳥会リーダーズフォーラム」に参加して全国各支部の取り組みや工夫など参考になりそうなこと、また、私達がいつも行っている観察会の方法で一工夫することはないだろうか？・・・そんなことを念頭において青柳隆さんからのお話を聞きました。

- \* 観察会の初めに「参加者の確認をしていること」はとてもいいことだ。
- \* 鳥だけでなく、花や昆虫、樹木などさまざまな自然にも目を向けるような観察会に。
- \* 「鳥合わせ」で終わらず感想を述べ合ったり、質問コーナーを設けたりするのもいい。
- \* 終わったらすぐ解散にしないで、時間のゆるす人だけでも、シートを敷いてお弁当でも食べながら鳥談義するようなことも楽しいのではないかな？
- \* 観察地が佐賀市内に偏っているのもっといろいろな地域に広げたい。その地域のトコロジスト（その地域について詳しい人）を担当者にして、役員がサブになってという形がとれるといいのでは？

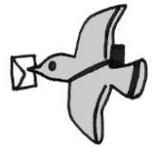
などの意見が出ました。

これからの観察会がさらに楽しく意義のある会になりますように。





## 皆さんからのおたより



### ●「鳥図の鳥たち 第7回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

暦のうえでは秋ですが、残暑きびしいので夏鳥をこの鳥図から探したところ案外と少ないので、今回は留鳥のセキレイ・ムクドリ・ヒヨドリです。

この図譜ではセキレイとしてハクセキレイ、キセキレイがありますが表記がありません。

ムクドリは表記ムクワ鳥として、ヒヨドリは少しコミカルな画像が掲載されています。



ヒヨトリ（ヒヨドリ）



セキレイ（ハクセキレイ）



（キセキレイ）



ムクワ鳥（ムクドリ）

### ●「宮古島探鳥行」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

7月16日より3泊4日で宮古島へ行って来ました。台風11号本土上陸の予報をよそ目に、朝一番の便で宮古島へは10時40分には到着です。

今回の私と中島さんのお目当てはオオクイナ。早速ポイント大野山林・青少年の家へ。

（※山林と言っても島で一番高い場所が標高114mですから山でなく低い台地です。）

前に訪れた時にはリュウキュウコノハズクが青少年の家の雨樋に棲みついていたが、施設の方にお聞きしたら『昨年までは、居たのですが今年は見ないです。』とのお答えです。いよいよ森に入ります。亜熱帯の木々の繁茂するジャングルです。太陽光線は林床までとどきませんが、湿度が高くムツとする暑さ、汗が噴きます。

「ウウウーウー」カラスバトが鳴きます。

「キョロロロー」リュウキュウアカショウビン、

「ホイホイホイホイ」リュウキュウサンコウチョウも鳴いています。

※リュウキュウサンコウチョウ、容姿は佐賀で見ると  
区別が付きません「ツキ・ヒ・ホシ」の鳴き出しが曖昧で短いようです？

道なりにしばらく歩くとポイントのプールに着きます。プールは人工物で雨水が溜まり淀んでいます。



リュウキュウアカショウビン

周りは大きな木々に囲まれ薄暗い処です。

バサバサバサと大きな羽音と共にカラスバトが来ます。 メジロもチョロチョロ動いています。「コホッコホッ」寝ぼけたリュウキュウコノハズクもときおり鳴きます。

プールは淀んだまま動きはありません。 明日夜明けから待ち伏せることにして移動。

島の北端、池間島方面へサトウキビ畑を突っ切って走ります。

お昼、「食事するお店が無いと困るから」と最初に見つけた店『カラカラ』へ。

宮古カレーを食べました。ライスが宮古島の形に盛ってあるだけの普通のカレーでした(笑)

食事の合間に宮古島漁協に連絡をして漁船をチャーターします。

船は今から向かう池間島漁港から出すとの連絡をもらい、下見も兼ねて島へ。

池間島大橋は島へ渡る長い橋(1,425m)です。海は、目の覚めるように鮮やかなトルコ石色。 海の上を真っ白な鳥が飛び交います。

エリグロアジサシです。 橋の下には小魚が群れ泳ぎます。

池間湿原へ。 入口ではシロハラクイナのお出迎え。

車に気づき足早に隠れます。

ここは水草の繁茂する38ヘクタールの湿原です。

背の高い草や木で覆われていますが、鉄筋の展望台があり、そこから湿原を見渡せます。

クロハラアジサシが1羽、湿原の上を飛び回り採餌しています。水路には雛連れのカイツブリも浮かんでいます。

遠くの木にはムラサキサギ幼鳥です。

宮古島は、亜熱帯海洋性気候でときおりスコールが通過して行きます。

明日の乗船漁協を確認し、宿へ。 晩ご飯は、宮古牛で舌鼓。

お店からの帰り道、蒲原さんが目撃した鳥影を見つけられ『あれはっ?』

早速、双眼鏡を合わせます。 ~おりから、ざあーっとスコール~ 『サシバです♪』

郵便局の入口の庇にじっと止まっています。 早速駐車場に車を入れて確認です。

もう一羽同じ庇に羽を広げています。 スコープを合わせます。

動きません?・・・ サシバは宮古島の鳥で、“デコイ”が置いてありました・・・

ずぶ濡れになってしまいました(怒!)

腹ごなしに再び大野山林へ。 『コホッコホッ』そこここでリュウキュウコノハズクが鳴いています。 アオバズクの声も。 『キョッキョッキョ』ヨタカ? ちょっと感じが違います。 後で判ったのですがオオコウモリです。

空を見上げれば、満天の星空。 人工衛星が流れて行くのが目で追えます。

2日目。 5時にホテルフロント集合、大野山林へ。

未だ夜は明けません。 リュウキュウコノハズク、アオバズクが盛んに鳴いています。

空が白みかかった頃ジャングルのプールへ。 中島さん手作りのブラインドを張りオオクイナを待ちます。

夜の鳥から昼の鳥に入れ替わります。 アカショウビン、サンコウチョウ、カラスバト、ズアカアオバト、イシガキヒヨドリ、クジャクも鳴いています。

『キョロロロー』アカショウビンが水浴びに。 鮮やかなダイダイ色の嘴と脚、羽は本土



エリグロアジサシ



で見るより紫がかったリュウキュウアカショウビンです。 キンバトも、道に出ます。 オオクイナを寄って来る蚊を払いつつ待つこと2時間。 出て来ました。 私達の正面の茂みからトコトコと。 プールでひとしきり水浴びをした後、また藪の中へ。

頭部は凶鑑程赤くありません。 腹の縞模様もはっきりしませんが、幼鳥でしょうか？

ホテルに帰り朝食を済ませ、船の出る池間島へ。

船の時間まで湿原で時間をつぶし、11時に漁協事務所へ。

11時半、漁船に乗り込み出発です。 沖に出れば海は群青色に変わり、波もあります。 向かう先は『フデ岩』（宮古島の北方14kmにある琉球石灰岩の小島で、灯台と緊急ヘリポートが有ります） カツオドリやアジサシ類が繁殖している小さな島です。

島の周りをアジサシが群れ飛んでいます。 ヘリポートにも所狭しと、止まっています。

殆どがクロアジサシです。 マミジロアジサシ、エリグロアジサシも舞っています。

船は波に翻弄され、止っている鳥の同定が出来ません・・・ヒメクロアジサシも居るはずですが？ 復路は、潮流のせいでしょうか？ 割とおだやかです。

ミズナギドリ（羽裏が白く無い！ 同定出来ません）やウミスズメも飛びます。

江里口さん、可哀想に船酔いされました。 13時半には港へ帰り着きます。

次は伊良部島へ。 ここにも大きな橋（今年の1月開通で全長2,100m）が架かっています。 島は、思ったより広く飛行場まであります。

川か海か判断出来ませんが、島を分断する水路ではヘラサギが嘴を左右に振りながらプランクトンを食べています。 海岸線の岩にはベニアジサシとエリグロアジサシが、空港の取り付け道路ではキンバト、となかなか見応えのある島でした。

夜は、ホテルブリーズベイマリーナ（リゾートホテル）で豪華に？

食後は来間島へ。 ここにも橋が架かっています。

灯りの無いサトウキビ畑の真ん中でスターウォッチングです。 天の川を見るのは何年振りでしょう。

3日目。 今日はちょっと遅めで6時集合。

またまた大野山林へ。 プールに着いた時には既に先客があります。 ワイバードのツアーの方々が陣取られて大きなカメラを構えていらっしやる。

「先ほどオオクイナ出ました。 キジバトだと油断しまして・・・」と画像を見せられます。 昨日と同じ個体です。 オオクイナは諦め、以前訪れた時にサンコウチョウが飛び交っていた堀のある方へ移動します。

入口の木に鳥影が動きます。 サンコウチョウが群れています。 子連れでしょうか？

田中さん、寝言のように「サンコウチョウ、サンコウチョウ」とおっしゃっていらしたので、これでクリア♪ですが？ 今度は「尻尾の長いサンコウチョウが見たい！」と（涙）みは繁殖期が過ぎ、すでに尾羽を落としています。

ホテルの朝食後、南東端の東平安名岬<sup>ひがしへんなづみ</sup>へ。 港の堤防の先にアジサシが群れ飛んでいます。 堤防の先には岩礁がありマミジロアジサシが間近に観察出来ます。 エリグロアジサシ、ベニアジサシも望遠鏡がなくても大丈夫。

沖にはパナリ岩礁。 遠いですがクロアジサシが舞っています。 いきなりスコールです。 岩礁がけむり、シルエットになります。 カツオドリが居ます。

雨に追われて移動。

サンコウチョウ見たい！の次は「こりこりした刺身が、食べたい！」 田中さん、我が儘が続きます。(汗) お昼は、島の駅で『カツオづけ丼』を頂きました(笑) 宮古島は、カツオの追い込み漁(アギヤー)が100年前から盛んだったところで、カツオ専門店もありました。

空港近くのサトウキビ畑へ。ここも以前ミフウズラを見た場所。サトウキビ畑の中に乗り入れます。ミフウズラが2羽♂♀道を横切ります(小さい!) ミフウズラは一妻多夫でメスの方が綺麗です。このサトウキビ畑で10個体程観察出来ました。8個体が♀です。♂は抱卵中なのか?出ません。明日は、最終日お土産調達に町へ戻ります。



ミフウズラ

最後の夜は、私もお酒が頂ける様にと皆様のお気遣いで宿泊ホテルに食事を予約して・・・大野山林へ。

まずはプールで日暮れまでオオクイナを待ち伏せ、その後リュウキュウコノハズクを探します。プールに張り出した枝から、鳥が飛び込み直ぐに戻ります!

サンコウチョウ♂ 尻尾の長い個体です。

その後、次々にサンコウチョウが水浴びに訪れます。アカショウビンも飛び込みます。サンコウチョウもアカショウビンも水浴びは水に浸かって羽を洗うのではなく、水に飛び込み、直ぐに上がるタッチ&ゴーです。

日没後、オオコウモリが動き出します『キョッキョッキョ』初日の夜に聞いた声です。『コホッコホッコホッコホ』リュウキュウコノハズク。アオバズクも鳴き出します。鳴き声に向かって懐中電灯を向けます・・・カメラを構えたバーダーがコノハズクの鳴き声にレンズを合わせいらっしゃいます・・・懐中電灯で照らすのはチョット後ろめたくてその場を離れ森の奥へ。この場所は密度が薄いようですが声の方向を照らします。目が光ります『照らしているところに双眼鏡の焦点合わせて! 早く!』飛びましたあ～。何度か試みますが葉が邪魔して見えません。

最終日。5時集合。大野山林へ夜明け前は再びコノハズクを照らして回ります。

1羽だけ飛んだ姿を見ました。

プールへ。今日は1番乗りでブラインドを張ります。直ぐ後からカメラマン。こちらは私達の左手でブラインドの用意。待つこと45分。

『オオクイナ出て来ている! 左に』と江里口さん。カメラマンのブラインド張りが続いているため警戒したのでしょうか、ゆっくり右の藪へ消えます。しばらく経って藪から出て来て森の奥へ帰って行きました。頭部が赤い! 先に見た個体とは違うようです。カメラマンの準備が出来た頃、再びトコトコと出て来て水浴びが始まります。今度は幼鳥タイプの方。パシャパシャパシャパシャとシャッターの音が続きます。

戻りの道端ではキンバトが、たっぷり見せてくれます。ホテルチェックアウトの後、湿原、昼食、最後は空港へ戻りミフウズラで時間を潰します。お見送りは2羽の雛連れのミフウズラ♂ 『可愛い♪』 ミーハーな言葉も飛び出します(笑)

16時45分発の便で帰路に。 (※文中の写真はすべて青柳良子さん撮影)

【参加者】青柳良子、江里口立子、蒲原留美、田中照美、中島由美子、宮原明幸

【出会った鳥】ミズナギドリ的一种、カツオドリ、カイツブリ、ムラサギサギ、クロサギ、アマサギ、コサギ、チュウサギ、ダイサギ、ヨシゴイ、ヘラサギ、ノスリ、ミサゴ、ミフウズラ、オオクイナ、シロハラクイナ、オオバン、バン、ツバメチドリ、ダイシャクシギ、アオアシシギ、クロハラアジサシ、ベニアジサシ、エリグロアジサシ、マミジロアジサシ、クロアジサシ、ウミスズメ、カラスバト、キンバト、ズアカアオバト、ホトトギス、リュウキュウコノハズク、アオバズク、リュウキュウアカショウビン、ヨタカ、リュウキュウツバメ、イシガキヒヨドリ、イソヒヨドリ、セッカ、リュウキュウサンコウチョウ、リュウキュウメジロ、スズメ、オサハシフトガラス、クジャク

### ●「アホウドリを追った日本人」・・・橋間 みち子さん (小城市芦刈町)

野鳥に関心がない友だちに「アホウドリがねっ！」と話を始めたら、「アホウ…」ワハハと笑って「アホウドリっているの??」とのこと。『アホウドリを追った日本人』を読んで興奮冷めやらぬ私は「日本の様な小さい国土の12倍の領海と200カイリの海域を得ることができたのはアホウドリのおかげよ。」と話しました。

『アホウドリを追った日本人』を一日で読み終えた私。

海で仕事をしている私にも『アホウドリを追った日本人』のDNAがあるのか? とても興味があり面白かった。(物語の中には)悪人が多くいました。

### ●「石井樋探鳥会に参加しました」・・・二宮 尚子さん (東京都)

8月2日、石井樋の「水ものがたり館」で行われた探鳥会に参加させて頂きました。連日の暑さに加え、台風で延期になったカヌーの行事と重なったにもかかわらず、事務局のみなさまの熱意が通じてか、思った以上に多くの鳥たちと出会うことができました。

中でも印象的だったのは、冬にはあれほどダンディーなカワアイサのオスが、今はボサボサのさえない姿だったこと!・・・そんな有様を恥じたのか(?),水浴びに来た犬に驚いたのか、双眼鏡に入った途端、あっという間に水路の向こうに逃げ込んでしまったのは残念でしたが、その後アオサギやカワセミ、セグロセキレイなどの若鳥が水辺をにぎやかにしてくれ、私たちはあっちを見たり、こっちを見たりと楽しく大忙し! 群れで水浴びをしていたカワラヒワの翼の黄色もステンドグラスのように透けて、とてもきれいでした。新入りの私にとっては、歩きながらの会話を漏れ聞くのも楽しみの1つです。

今回は昆虫に詳しい島田さんが、コクサグモや、ハグロトンボ、ウスバキトンボ、チョウトンボなどの解説をして下さいましたし、「落し物」かペリットか? という会話も聞こえてきて、耳がダンボに・・・! 野鳥だけでなく自然を広く楽しめて、解散までワクワクの連続です。

野鳥観察のあとには「探鳥会」をテーマにしたリーダーズフォーラムに参加なさった青柳さんから、より魅力ある観察会のための企画と工夫についてお話を伺いながらの勉強会があり、こちらも大変有意義でした!

担当の青柳さんはじめ事務局のみなさま、本当にありがとうございました。



## 皆さんからの野鳥&生きもの情報



### ■宮崎 八州雄さん（鹿島市）

- 5月28日 【新籠】メダイチドリ2、ダイゼン9、アオアシシギ4、  
ソリハシシギ7、オオソリハシシギ1、チュウシャクシギ8
- 5月29日 【新籠】アカアシシギ1、ソリハシシギ7、ヨシガモ♂2、ユリカモメ2  
※ソリハシシギの1羽の左脚に青いフラグ
- 6月3日 【鹿島市三河内】ヒメボタル20+ 狭い範囲で明滅していた、新産地？
- 7月4日 【大授搦】オニアジサシ若鳥1、ズグロカモメ1  
オニアジサシはダイビングはせず、海面付近を低く飛び、Skimmer  
(ハサミアジサシ)のような採食行動を見せた。  
個人的には2000年5月に見つけて以来、15年振り。  
県全体では、写真等の無い記録も含め4例目であろう。
- 7月11日 【佐賀市東与賀町下古賀】ハヤブサ1  
【新籠】クロツラヘラサギ1、ホウロクシギ1、チュウシャクシギ1
- 8月1日 【佐賀市富士町嘉瀬川】カワアイサ♀1  
右翼を損傷しているらしく、かなり  
短く見えた。  
【大授搦】オグロシギ43、コオバシギ2、  
アオアシシギ151、シロチドリ25、  
オオメダイチドリ6+、カワウ1
- 8月5日 【鹿島市高津原】アオバト（声）



カワアイサ♀

### ■松田 信義さん（佐賀市）

- 7月2日 【大授搦】オニアジサシ  
嘴の赤い相当大きなアジサシでした。



オニアジサシ

### ■馬場 順一さん（鳥栖市）

- 7月9日 【鳥栖市布津原町】クマゼミ初鳴き？  
自宅アパートそばの樹木。
- 8月17日 【鳥栖市布津原町】ミンミンゼミ  
自宅アパートそばの樹木。午後4時前  
に突然鳴きはじめる。鳥栖市内では  
九千部山などで鳴き声を聴くが、平地  
の町中で聴いたのは初めて。



ブッポウソウ

### ■八木 ひとみさん（佐賀市）

- 7月25日 【福岡県日向神ダム】ブッポウソウ

8月3日 【佐賀市川上峡】 ウミアイサ  
 昨年秋に見たウミアイサ、  
 このところずっといるようです

8月15日 【熊本県荒尾海岸】 アオバト  
 尾羽を海水につける様子です。  
 2週間前は100羽くらい見れた  
 そうです。



アオバト

■豊岡 三郎さん（唐津市）

8月11日 【唐津市鎮西町】 マナヅル1  
 一羽のマナヅルが夏を越しそうです。 最初の発見は  
 5月26日。8月11日現在、元気に水田の中を歩き  
 まわっています。 ほぼ毎日観察していますが飛んで  
 いる姿は見たことがありません。まもなく稲刈りが始  
 まりますので、どうなるか心配です。



マナヅル



**有明海の満潮時刻** (白石・住ノ江港)

9月	5(土)	0:50/5.0m	13:46/4.6m	10月	3(土)	9:36/5.8m	22:24/5.9m
	6(日)	1:34/4.5m	15:05/4.3m		4(日)	10:22/5.9m	23:03/6.0m
	12(土)	8:32/5.4m	20:58/5.6m		10(土)	2:17/4.7m	15:33/4.4m
	13(日)	9:06/5.6m	21:27/5.6m		11(日)	3:38/4.4m	17:14/4.4m
	19(土)	12:03/4.9m	23:59/4.9m		12(祝)	9:27/5.5m	22:01/5.6m
	20(日)	12:40/4.6m			17(土)	10:00/5.5m	22:28/5.6m
	21(祝)	0:35/4.6m	13:38/4.3m		18(日)	0:34/4.8m	13:09/4.4m
	22(休)	1:35/4.2m	15:18/4.1m		24(土)	1:15/4.5m	14:17/4.1m
	23(祝)	3:26/4.1m	17:13/4.4m		25(日)	8:34/5.8m	21:19/5.9m
	26(土)	7:26/5.4m	20:06/5.7m		31(土)	9:23/6.0m	22:01/6.1m
	27(日)	8:18/5.8m	20:51/6.0m				



**満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう!**

- 東よか海岸  
 潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト!
- 鹿島新籠海岸他  
 潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト!

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。





# 最近の新聞・情報誌の記事から

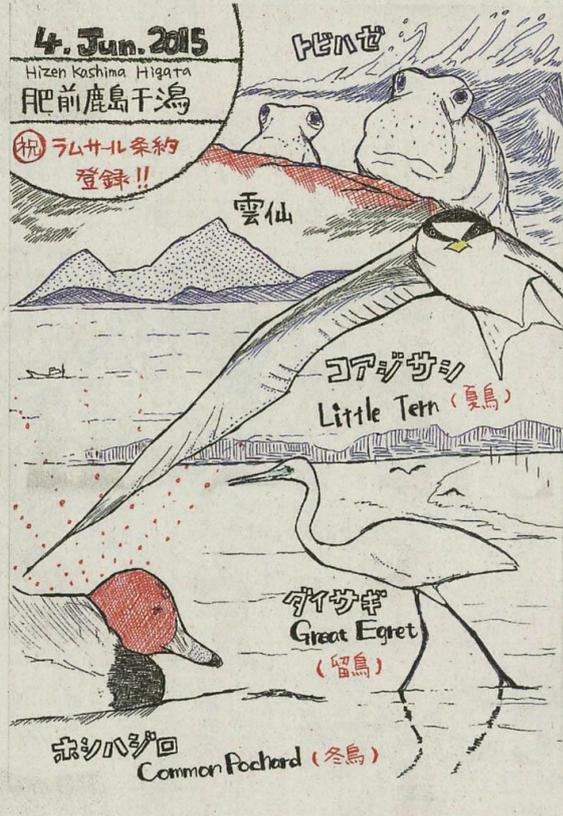
## 探鳥日記 中村 さやか

ラムサール条約に登録された「肥前鹿島干潟」へ出かけました。肥前鹿島干潟は鹿島市の鹿島川と塩田川の河口に広がる干潟で、登録面積は57畝、渡り鳥の重要な中継地、越冬地です。

残念ながら今は渡り鳥のシギ、チドリたちが繁殖地であるロシアなどに行っており、少し寂しいのですが、夏鳥のコアジサシが上空からダイビングして魚をとる様子や、ダイサギが30羽ほど波打ち際で群れているのを見ることができました。8月にはシギ、チドリたちが南へ渡る途中に肥前鹿島干潟へ帰ってきて、また干潟はにぎやかになります。

(日本野鳥の会県支部幹事)

### 渡り鳥の重要な中継地



佐賀新聞に掲載中！  
中村さやかさんの  
新シリーズ  
「探鳥日記」

(15/7/3 付け：佐賀新聞)

## 探鳥日記 中村 さやか

今年も町なかの民家や商店の軒下にツバメが巣を作り子育てしています。近所のツバメの子どもたちは7月の初めころに無事巣立ちました。

子育てが上手なツバメのペアは、シーズン中に2回、3回と子どもを育てることがあります。暑い中、ひっきりなしに餌を運んでくる親たちはとても大変そうです。

さて、巣立ったツバメの若鳥たちは最初の1週間ぐらいは親から餌をもらって、夜はまた巣に戻ってきて休みます。その後は、大きな川の川べりなどに生えているヨシ原に集まり、若鳥たちだけで集団でねぐらをとります。夕方になると、たくさんのツバメたちがやってきて一斉にヨシ原に入る様子には圧倒されます。

(日本野鳥の会県支部幹事)

### 巣立った子はヨシ原集合



巣立ち間近のツバメのヒナたち

(15/7/30 付け：佐賀新聞)



日本一がいっぱい!!

# ラムサール条約湿地

# 東よか干潟

WASABI 塾



有明海は日本一の生産量を誇る海苔の豊かな漁場。

## 有明海の干満の差 日本一!

潮汐の干満の差が6mと日本最大級!!  
干潮時には、見渡す限りの干潟が広がっています!!



シオマネキ

有明海特有の珍しい生物がいっぱい!!

ムツゴロウ

## シチメンソウの群生 日本一!

東よか干潟は、絶滅が危惧されている塩生植物、シチメンソウの国内最大の群生地。

秋の一面真っ赤に染まったシチメンソウ



子どもが遊べる遊具がいっぱい!!

## 干潟よか公園

## シギ・チドリの飛来数 日本一!

環境省の全国約100ヶ所でのモニタリング調査で、シギ・チドリ（渡り鳥）の飛来数が一番多いのが東よか干潟。その他の野鳥の数も多く、四季を通じて100種類以上の野鳥が見られます。



クロツラヘラサギ

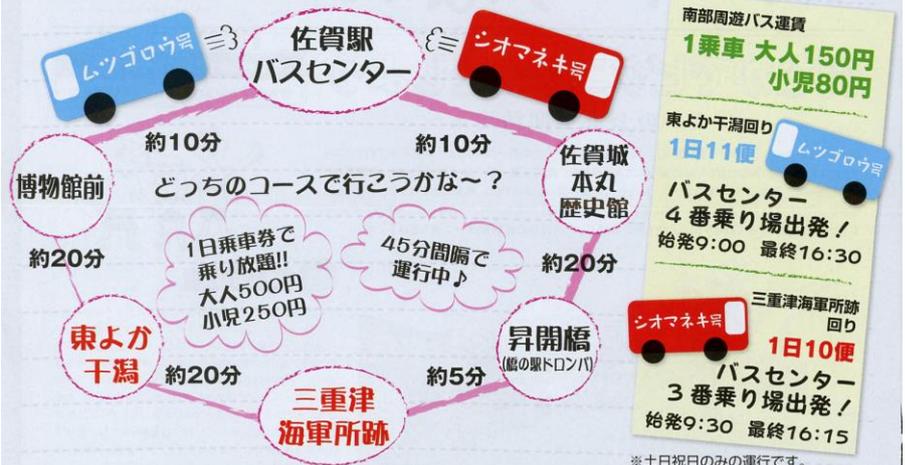
ズグロカモメ

## ラムサール条約って??

正式名称：特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約湿地の生態系の保全とワイルドユース(賢明な利用)を促進することを目的に制定された国際条約です。イランのラムサールで条約が採択されたことから「ラムサール条約」と呼ばれています。

WASABI 塾

## 三重津海軍所跡 & 東よか干潟が巡れる 南部周遊バスで佐賀の名所を巡ってみよう!



フリーペーパー

WASABI 8月号

(記事提供：田中丸雅雄さん)





## 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費一般 300 円・会員 100 円・中学生以下無料)

日時：9月6日(日) 8:00~11:00、10月4日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会) ※時間注意！

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：8:00 玄洋高校北西の端道路

日時：9月1日(火)、10月6日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：9月12日(土)、10月10日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：9月13日(日)、10月11日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：9月20日(日)、10月18日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：9月26日(土)、10月24日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：8:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費 100 円)

日時：9月6日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：朝倉市・甘木公園 / 集合：10:00 甘木公園噴水駐車場前

担当：木原直人さん 携帯：090-4516-4467

日時：9月13日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：久留米市・高良山 / 集合：9:00 高良山下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：9月20日(日) 秋の有明海探鳥会・大授掬 (企画探鳥会)

場所：佐賀市東与賀町 / 集合：11:00 東よか干潟 (大授掬) 展望台

担当：江口浩喜さん 携帯：090-4516-1123

日時：9月27日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・濃施山公園 / 集合：9:00 濃施山公園内すいせん橋

担当：野田達行さん TEL：0944-58-1672

## FLOWER GALLERY

(撮影:八木ひとみさん)



ノヒメユリ (平尾台)



マツムシソウ (天山)



モウセンゴケ

### ~編集部からのお知らせ~

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) [f\\_baba841@ybb.ne.jp](mailto:f_baba841@ybb.ne.jp)





# 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①8/30 ④9/13 ⑦10/18 東よか干潟



②8月30日 ツバメのめぐら(佐賀市川副町)



③9月6日 室内学習会(佐賀市立図書館)



⑤9月20日 鏡山(唐津市)



⑥10月11日 森林公園(佐賀市)



夏のオシドリ（银杏羽ありません）  
（茨城県行方市大円寺川河口）  
写真提供：山澤健一さん（茨城県）





## 観察会などのご案内 (2015年8月末～10月)

①8月30日(日) ④9月13日(日)

⑦10月18日(日) 東よか干潟  
(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 東よか干潟展望台  
[担当] 田中丸雅雄さん(佐賀市) 080-1707-9225  
[見どころ] ラムサール条約の登録湿地となり、全国のバードウォッチャーから注目の東よか干潟。毎月参加すると、夏の終わりから秋にかけてのシギ・チドリたちの変化が楽しめます。

②8月30日(日)

ツバメのねぐら観察会(佐賀市)

[時間&場所] 18:00 有明海漁協・大詫間支所  
駐車場(早津江川の川副大橋を渡り終わって  
すぐ急角度に左折したところ)  
[担当] 永島 博さん(佐賀市) 090-1360-8940  
宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 春から夏にかけて巣立ったツバメの若鳥たちが集団で休む川辺のアシ原を観察します。

③9月6日(日)室内学習会

「日本一の干潟  
東よか干潟を知ろう」

[時間&場所] 14:00～16:00 佐賀市天神の  
佐賀市立図書館 2F・多目的ホール  
[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286  
※詳しくは3ページの案内をご覧ください。

⑤9月20日(日)

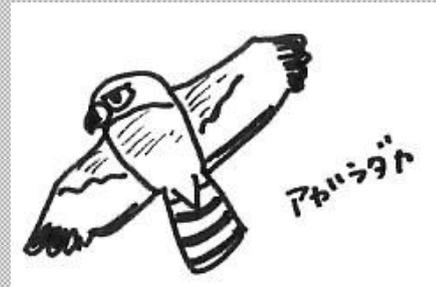
鏡山・ハチクマの渡り観察会(唐津市)

[時間&場所] 08:00 唐津市鏡山の山頂駐車場  
[問合せ先] 宮原 明幸さん(佐賀市)  
携帯 090-2507-7085  
[見どころ] 渡りのピークを迎えたハチクマ&ハイタカ、アカハラダカ、オオタカなど猛禽類。穏やかな天気になりますように。

⑥10月11日(日)

森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00  
佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場  
[担当] 島田 洋さん(佐賀市)  
[携帯] 090-2393-1286  
[見どころ] 最後の最後まで残った夏鳥たちと、姿を見せ始める冬鳥たちが混在中?



### 共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル  
電話 03-5436-2626(代) FAX 03-5436-2636  
日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸  
事務局：島田 洋(電話：携帯 090-2393-1286)  
〒849-0934 佐賀市開成 1-3-11  
郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」